



小田小だより

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 Tel.045(775)3011

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/koda/>

横浜市立小田小学校

自分も友だちも だれもが大切に

校長 中川 浩二

今年も校庭の十月桜が、寒い中であって春をイメージさせるピンク色のサクラを咲かせています。12月には人権週間です。本校でも各学年において人権教育を取り組みました（別ページ掲載）。

私からは、12月5日の朝会で「自分も友だちも、だれもが大切にされて過ごしていくこと」について全校児童に話をしました。

学校は、子どもにとって一つの社会で、家庭と違い多くの人数の中で過ごしています。SMAPの「世界にひとつだけの花」の歌のように、一人一人、性格も違えば得意なことや苦手なことも違いますが、自分も友だちも大切にされなければなりません。



サクラが咲いている校庭の十月桜

学校の中で、友だちの考えを優先し自分の考えを遠慮したり、自分の考えを通すために友だちの考えを軽視したりする場面が見られることがあります。この2つのバランスをとりながら、「自分も友だちも大切にされ、気持ちよく過ごしていこう」とする、子どもたちの人権意識を高めていくことが重要です。

この「自他ともに大切」にすることは、友だちとのかかわりの中で学んでいきます。例えば、グループで協力しながら一つのことをやり遂げたとき、グループでの活動がうまくいかなかった反省から学んだとき、自分の行動が友だちから喜ばれたとき、困っているときに友だちが助けてくれたときなど、さまざまな場面を通して学んでいきます。

この学びの環境をつくるのが学校の役割です。子どもたちが、「自他ともに大切」にされているという実体験を積み重ねていけるよう、各教科の学習・特別活動・行事など教育活動全般を通して、取り組んでいます。

また、小田小では、「一人も独りにしない学びづくり」をテーマに授業を中心とした重点研究を行っています。これも「自他ともに大切」にすることにつながっています。

小田小の子どもたちは、やさしく友好的です。「校長先生、一緒に遊ぼう！」とよく声をかけられます。地域でのお祭りのときや11月の4年生宿泊学習での部屋レク（カードゲーム）をしていたときにもやさしく声をかけられました。

最近、地域の方から、あたたかいお手紙をいただきました。小田小の子どもたちから、「ありがとうございます」との礼儀正しい挨拶に感心したこと、仲間に入れてくれて遊んだり、会話したりしたことが嬉しかったと書かれていました。小田小の子どもたちは、自然と「自他ともに大切」にできる開かれた心をもっています。

ご家庭においても、「自他ともに大切」を話題にして、お子さまと一緒に話してみてください。

冬休みは、年末年始の行事に行ったり、ご家庭でゆっくり団らんしたりして楽しく過ごされるのではないのでしょうか。どうぞよいお年をお迎えください。明年もよろしくお願ひいたします。